

女性リーダー @ 福井 ③

女性リーダー」というと、「鉄の女」「強い女」のイメージが先行します。でも、「強い」より「かわいらしい」を好むことの多い女性には、必ずしもなじみません。無理に強さを求めず、女性らしい柔らかさを備えたりーダーでも、いいのではないでしょうか。

会社を作った頃は「女経営者なんて」と言われたこともあります。「社長なんだから、負けちゃいけない」と必死で。仕事相手の男性経営者には、強気で生意気な、イヤな女に見えたでしょうね。今思えば、自信がないことを悟られなくなつたんだと思います。

経営のため、どんな小さな仕事でも引き受けました。女性が敬遠するような組織論なんかもがむしゃらに勉強しました。セミナーなどにも積極

企業研修会社社長
山内 喜代美さん

的に参加しましたが、県内開催には行けなかつたんです。分からぬことがあるのを顧客に知られるのが嫌だつたんですね。

3年目くらいに「負けて勝つ」やり方が身に付いてきました。仕事の数をこなして自

女性で良かったと思うこと

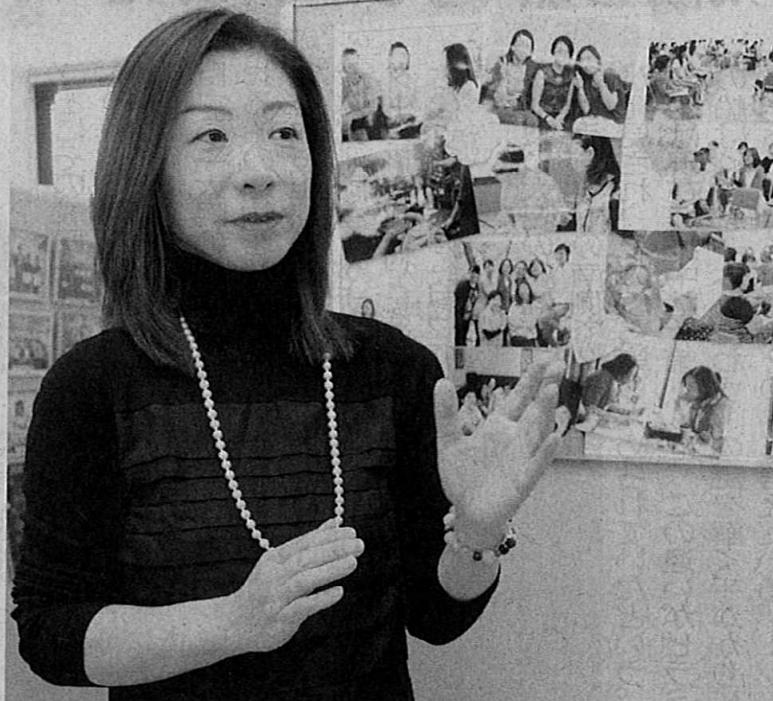
信もつき、相手の意見を認められるようになりました。それを踏まえて、私の思いを徐々に浸透させていくんです。

強気で押すだけではない、様々な伝え方があることを知りました。

女性向けの研修をしてきて思うのは、女性の力を引き出しあげる人が、まずは必要だということです。特に福井の女性は、自分の意見を言わない人が多いですが、「何でもいいよ」と言えば、驚くほどしゃべってくれます。うまく質問して調整すれば、ちゃんと結論にたどり着けるんですよ。

男性のいた空きポジションに女性を充てるのでなく、女性ならではの良さと生かし方を知つてもらつことが大切です。男性と女性が縦糸と横糸になつて、より良い社会を織りなしていく、私もそんなお手伝いができたらと思います。

心柔らか「負けて勝つ」



やまうち・きよみ 1971年生まれ、県立高志高、産能短大卒業。20歳で日本生命に入社し、営業部に配属、後に新人教育で実績を上げる。出産を機に退職し、人材育成会社に入社。37歳で社長となり、2010年に新たに企業研修会社「ドリームワークス」を設立する。女性リーダー養成など様々なニーズに応じた研修を提案。高校1年と小学4年の息子がいる。

男性のいた空きポジションに女性を充てるのでなく、女性ならではの良さと生かし方を知つてもらつことが大切です。男性と女性が縦糸と横糸になつて、より良い社会を織りなしていく、私もそんなお手伝いができたらと思います。